



ウズベキスタン共和国 (Republic of Uzbekistan)



- ウズベキスタンへの援助総額は、2014年度までに、有償資金協力：2,766.30億円、無償資金協力：229.69億円。
- ウズベキスタンは高付加価値製品輸出政策への移行、漸進的な経済自由化を志向。

国概要

(基礎データ)

- 面積：447,400平方キロメートル(日本の約1.2倍)
- 人口：2,990万人(2015年、国連人口基金)
- 首都：タシケント(首都圏人口約230万人)
- 民族：ウズベク人が約8割を占め、その他タジク人、ロシア人、カザフ人、タタール人、キルギス人、朝鮮人等の少数民族。
- 言語：ウズベク語(公用語)、ロシア語(民族間交流語)
- 宗教：イスラム教(スンニ派が優勢)、ロシア正教ほか
- 政体：共和制
- 議会：二院制(上院100議席、下院150議席)
- GDP：667.33億ドル(2015年、世界銀行)
- GDP：一人あたり 2,132ドル(2015年、世界銀行)
- 経済成長率：8.1%(2014年、IMF)
- 失業率：4.8%(2014年、CIS統計委員会)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

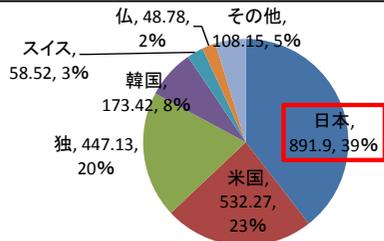
	古代よりオアシス都市が繁栄
8世紀以降	アラブ勢力の侵入、イスラム教の受容
13世紀	モンゴル帝国の支配
14世紀	ティムール帝国の支配
18世紀	ブハラ、ヒヴァ、コーカンド3汗国の時代⇒シルクロードの要衝として発展
1867年	ロシア帝国による植民地統合
1918年	トルキスタン自治ソビエト社会主義共和国
1924年	ウズベク・ソビエト社会主義共和国成立
1991年	ソ連より独立宣言

援助実績(E/Nベース)

スキーム	額(累計)/人数(延べ)
円借款	2,766.30億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	229.79億円 (2014年度末時点)
技術協力	173.50億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ207人 (2016年6月時点で30人)
シニア海外ボランティア	延べ69人 (2016年6月時点で9人)

出典：ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

ウズベキスタンへの主要ODA供与国 (1992年～2014年累積、出典：OECD/DAC) (単位：百万ドル)



経済関係

スキーム	金額/人数(直近年)
日本からウズベキスタンへの輸出	304.1億円 (2015年、財務省統計)
ウズベキスタンから日本への輸出	33億円 (2015年、財務省統計)
在ウズベキスタン日系企業数	17社 (2014年末時点、外務省統計)
日ウズベク経済合同会議	これまで12回開催 (直近では2016年4月)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ウズベキスタンにおける在留邦人数	126人 (2015年10月時点、外務省統計)
在日ウズベキスタン人数	1,599人 (2015年12月時点、法務省統計)
ウズベキスタンから日本への留学生数	471名 (2015年5月時点、独JASSO調査)
ウズベキスタンから日本への観光客数	487人 (2015年、法務省入国管理局統計より観光目的入国者数)

日本とウズベキスタン共和国との協力年表

年代	案件
1991年	ウズベキスタン共和国独立
1992年	国家承認
1993年	研修員受入れ、専門家派遣等を開始(対ウズベキスタン支援開始)
1994年	無償資金協力を開始
1995年	有償資金協力を開始
1998年	青年海外協力隊派遣取極に署名
1999年3月	JICA事務所開設
2000年	人材育成奨学計画を開始(2015年までに計280名の若手行政官の留学を受入れ)
2001年8月	ウズベキスタン日本人材開発センター(CUJC)開所
2006年6月	技術協力協定を締結
2006年5月	アジモフ副首相兼財務大臣訪日(2007年5月、15年1月にも訪日)
2010年4月	ガニエフ対外経済関係投資貿易大臣訪日(2013年3月、6月、12月、14年3月、15年10月、16年5月にも訪日)
2011年2月	カリモフ大統領訪日(公式実務賓客)
2014年11月	円借款「電力セクター・プロジェクト・ローン」(868.39億円)の交換公文締結
2015年10月	安倍総理がウズベキスタンを訪問し、カリモフ大統領との間で「日本国とウズベキスタン共和国との間の戦略的パートナーシップの深化及び拡大に関する共同声明」に署名
2015年12月-2020年11月	ウズベキスタン日本人材開発センター・ビジネス人材育成・交流機能強化プロジェクト



日ウズベキスタン二国間経済関係発展のキーパーソン。経済合同会議ウズベキスタン側議長も務める。訪日多数。



ウズベキスタン有力閣僚として、カリモフ大統領の指示を受け訪日多数。



- ・ウラン、レアメタル等の鉱物資源の共同開発、調査に関する協力の強化で一致
- ・貿易・投資拡大に向けたビジネス環境の継続的な改善の必要性を確認
- ・日本の国連安保理常任理事国入りに対するウズベキスタンの一貫した支持を確認



火力発電所や熱電供給所の建設等、電力分野の複数案件について包括的に円借款を供与する「電力セクター・プロジェクト・ローン」の交換公文を締結。

同国は、持続的な経済成長を実現すべく、産業の高度化・多角化を進め、過度な資源依存型の経済構造からの脱却を図る方針を掲げている。ウズベキスタン日本人材開発センター(UJC)において、実践的なビジネスコースの継続的な提供、ビジネス人材の交流と情報共有に資する機能強化などを支援し、中小企業の経営者や起業家の人材育成を図るもの。